

令和3年度 FD 実施計画書・報告書

令和4年3月現在

I 学部学科・研究科名

教育学研究科

II-1 実施計画①【概要】

II-2 実施報告①【概要】（年度末記入）

取組No	A FD センター重点項目	FD2021 取組項目	A FD センター重点項目 達成内容
1	DP 達成度評価の現状と課題抽出・計画策定 ・ DP ルーブリックの策定に向けた問題検討、目標・計画設定 ・ DP ルーブリックに関するアセスメントプランの検討	I-1-(1)	1) 3つのポリシーのうちディプロマポリシーとアドミッションポリシーを見直し改定した(7月研究科委員会承認) 2) 1)を受け、DP ルーブリック案を提示・検討を依頼し(9月研究科委員会)、承認を得た(11月研究科委員会)。 3) アセスメントプランの一つである「学生学修達成度自己評価票(DP ルーブリック達成度評価)」作成のためのカリキュラムマップの調査を行った(1月19日)。
2	授業ルーブリック・課題ルーブリックの推進 ・ 各学科におけるルーブリック導入率 (授業ルーブリック・課題ルーブリック)の向上 ・ ルーブリック共通フォーマット導入の検討	I-2-(1)	1) 「特別研究A～D」(修士論文指導)や「研究方法論I～IV」に関する「学位論文審査基準ルーブリック(修士論文評価ルーブリック)案」を提示・検討を依頼し(11月研究科委員会)、承認を得た(2月研究科委員会)。 2) 令和3年度に開講した授業に関して、授業ルーブリック及び課題ルーブリック導入に関する調査を行ったところ、導入率は0%だった。
3	Society 5.0の到来に備えたDP/CPの見直し ・ 数理・データサイエンス・AIに関連する科目等の設置検討	I-1-(4)	第2回将来構想委員会(6月27日)にて、「Society 5.0の到来に備えたDP/CPの見直し」について、「教育学特論Ⅶ(教育工学)」の授業内で数理・データサイエンス・AIを教育に活かすという観点であれば可能である旨、確認した。
4	「成績評価ガイドライン(仮)」のポリシー策定 ・ FD センターから提供された成績評価ガイドライン(仮)(暫定案)をもとに研修会実施・意見共有	I-2-(2)	1月研究科委員会にて、「成績評価ガイドライン」について情報共有を行った。本研究科は、令和4(2022)年度からこのガイドラインに準じて成績評価を行うことを確認した。
5	各学科・研究科内FD研修会と情報共有の場の推進	I-2-(3)	3月10日に大学院FD研修会を開催し、今年度のFD活動報告、それに対する教育学研究科内自己点検・評価委員会による点検評価と総括、そして令和4年度FD計画について議論した。
取組No	B その他取り組み項目		B その他取り組み項目 達成内容
6	教育学研究科の教育目標の見直し、及び「履修モデル(目指す大学院修了生像)」の策定検討、教育課程の変更		1) 改定された「教育目標」と「履修モデル(目指す大学院修了生像)」は7月研究科委員会にて承認された。 2) 教育課程の変更については、研究科委員会、将来構想委員会、カリキュラム検討WGにて議論の結果、リソース的に難しい点からも現段階での変更は取りやめるべきとの結論に達し、1月研究科委員会にて計画変更が承認された。

Ⅲ-1 実施計画②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】

Ⅲ-2 実施報告②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】 (年度末記入)

取組 No.	予定時期	内容	実施日	達成内容(未達の場合は理由を記載)
5	4 月	・教育学研究科 FD 活動俯瞰図の共通理解	5 月 27 日	FD 活動俯瞰図を作成し、5 月研究委員会にて報告した。
1、6	5 月	・自律的学習態度醸成のための「学生学修達成度自己評価票」の検討	5 月 27 日	「学生学修達成度自己評価票」案を作成し、5 月研究委員会にて報告・了承された。
1～6	6 月	・全学教学マネジメントと教育学研究科の教学マネジメントの位置づけ ・FD 活動計画の再修正	6 月 24 日	FD 活動俯瞰図に、全学教学マネジメントと本研究科の教学マネジメントの関係を加筆し、6 月将来構想委員会にて報告・了承された。併せて FD 活動計画に関して、DP ルーブリック策定を最優先とすることが確認された。
1、5、6	7 月	・求める教員像及び教員組織編成方針に関する自己点検・評価項目案の検討 ・短期人事計画の策定	7 月 20 日 3 月 10 日	・将来構想委員会にて、求める教員像及び教員組織編成方針に関する自己点検・評価項目等について意見を求めた。 ・将来構想委員会にて、令和 4(2022)年度短期人事計画(研究指導教員、研究指導補助教員の任用)について議論し了承された。 ・3 月研究科委員会にて、求める教員像及び教員組織編成方針に関する自己点検・評価項目案を報告した。
1、5	9 月	・改定される学修目標(DP)と授業科目の関連性の検討(DP 関与度調査) ・合理的配慮に基づく入学者選抜の実施要領案の検討	1 月 19 日 12 月 16 日	・カリキュラムマップ調査を 1 月 19 日までに実施した。 ・合理的配慮に基づく入学者選抜の方針(大学院案)を入試広報部へ提出した。本研究科はそれに準じて入試を実施する旨、了承された(12 月研究科委員会)。
2	10 月	・学位論文審査基準のルーブリック案策定(客観的な指標に基づく評価) ・授業ルーブリック・課題ルーブリックの推進	2 月 24 日 3 月 10 日	・「学位論文審査基準ルーブリック(修士論文評価ルーブリック)案」は 2 月研究科委員会にて承認された。 ・令和 3(2021)年度の授業ルーブリックと課題ルーブリックの導入に関する報告を行った(2 月研究科委員会)。3 月大学院 FD 研修会にて議論した。
1、5	11 月	・修論研究指導体制の検討着手(研究計画書、副指導教員指導報告書、副査学位論文審査評価票)	2 月 24 日	2 月研究科委員会にて修士論文研究指導体制が了承された。
4、5	12 月	・BP 策定のための修了生、職能団体意見聴取 ・FD センターから提供された成績評価ガイドライン(仮)(暫定案)をもとに研修会実施・意見共有	・未達 1 月 27 日	・BP(ブラッシュアッププログラム)に関する職能団体意見聴取は未達成だった。教務部・発達支援センターと、種々の BP の内容を検討しスケジュールを変更したことによる。 ・1 月研究科委員会にて「成績評価ガイドライン」を共有し、令和 4(2022)年度よりこのガイドラインに準じて成績評価を行うことが確認された。
5	1 月	・自己点検・評価委員会による教育学研究科 FD 活動評価	2 月 24 日 3 月 10 日	教育学研究科内自己点検・評価委員会による教育学研究科 FD 活動の点検・評価を依頼した(2 月研究科委員会)。結果は大学院 FD 研修会において報告された。
1～6	3 月	・FD 研修会(R3 年度の総括と次年度計画)	3 月 10 日	令和 3(2021)年度の教育学研究科 FD 活動の自己点検・評価について総括を行い、次年度の計画に向けて議論した。